

第 206 回 I P U（列国議会同盟）評議員会（結果要旨）

参議院国際部

〈会議開催までの経緯〉

本来、第 206 回 I P U 評議員会は、2020 年 4 月にジュネーブ（スイス）において開催が予定されていた第 142 回 I P U 会議中に行われることとされていた。

しかし、同年に発生した新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の世界的大流行を受け、I P U は第 142 回 I P U 会議の同年中の物理的な開催を断念した。その一方で、新たな I P U 議長の選出を含む I P U の機能に関連する緊急の問題について決定を行う必要性に鑑み、オンライン形式による評議員会を同年 11 月に招集することが決定された。

同決定を受け、第 206 回 I P U 評議員会は、2020 年 11 月 1 日（日）から 3 日（火）まで（主催機関所在地（スイス）時間）の 3 日間、オンライン形式により、145 の国・地域から 669 名（うち、議員 458 名）が参加して開催された。

山東昭子参議院議長は、衆議院議員 2 名と共に、日本国会代表団（団長・山東昭子参議院議長、副団長・鈴木俊一衆議院議員）を構成し、会議に参加した。

〈会議の概要〉

1. オンライン評議員会のための特別議事手続規則の採択

オンライン評議員会の運営を規定する特別議事手続規則が採択された。

2. 2019 年度 I P U 決算

2019 年度 I P U 財務報告書及び監査済財務諸表に基づき報告が行われた後、同年度 I P U 決算が承認された。

3. 2021 年度 I P U 予算案

現下の困難な状況を踏まえ、いずれの加盟国の分担金も増加せず、総額を前年度と同水準の約 1,778 万スイスフランとする予算案が承認された。日本の分担金額は、前年度とほぼ同額の約 94 万スイスフラン（分担率 8.56%）となった。

4. I P U 議長の選挙

10 月 19 日に任期満了を迎えた G・クエバス・バロン前 I P U 議長（メキシコ）の後任として、S・サンジラーニ上院議長（パキスタン）、D・パシェコ議員（ポルトガル）、A・サイドフ下院第一副議長（ウズベキスタン）及び S・アタウラージャン議員（カナダ）の 4 名が立候補を表明した。選挙に先立つ 10 月 21 日には、4 名の候補者

のヒアリングがオンライン形式で行われ、各候補者は所信を示すとともに、I P U加盟議会議員からの質問に応じた。

投票は、11月1日午後3時から2日午後3時（主催機関所在地（スイス）時間）の間にオンライン形式で行われ、142のI P U加盟議会から394名の国会議員が参加した。

投票の結果、総投票数394票のうち、パシェコ議員が222票、サイドフ下院第一副議長が67票、アタウラージャン議員が53票、サンジラーニ上院議長が52票を獲得し、投票総数の絶対多数を得たパシェコ議員が当選した。

5. 今後のI P U会議

今後の開催が確認された会議のうち、主なものは以下のとおりである。なお、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの状況により、変更となる可能性がある。

- ・ 第142回I P U会議（2021年5月又は6月、ジュネーブ（スイス）
（注：同会議は、2021年5月にオンライン形式で開催されることが同年1月のI P U執行委員会にて決定された。）
- ・ 第13回女性議長会議（2021年7月、ウィーン（オーストリア）
- ・ 第5回世界議長会議（2021年7月、ウィーン（オーストリア）
- ・ 第143回I P U会議（2021年11月6日～10日、キガリ（ルワンダ）

（了）